

科目名	英語演習 I	英語科目名	English (Advanced I)
開講年度・学期	平成27年度・通年	対象学科・専攻・学年	4学年 全学科
授業形態	講義・演習	必修 or 選択	必修
単位数	3単位	単位種類	履修単位 30h
担当教員	有坂頭二	居室（もしくは所属）	専攻科棟2階
電話	内線 191	E-mail	arisaka@[小山高専のドメイン名]
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. 授業で扱った単語や熟語、文法事項が定着したことを示せるようになること、そしてそれらの知識や既習の知識を用い、日常生活で使うレベルの表現の英作文ができるようになること。	⑥	E	(f)
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1. 試験の平均が60%以上を満たしている場合、若しくは試験の平均と、提出課題、授業への取り組みの内容と回数等を設定水準に基づいて評価した結果との合算が、本校所定の基準を満たしたと認められる場合、目標達成とする。			
評価方法			
評価は下記項目の加重平均で行う。 1. 中間・定期試験4回の点数（の平均点）（約80%） 2. 提出課題、及び授業中の口頭発表の内容と回数（約20%） ※ただしこの割合はあくまでも基本であり、変更もあり得る。場合に応じ全てを考慮した上で、総合的に評価する。			
授業内容			
<p>ガイダンス+Unit 15 Sleeping Business Unit 15 Sleeping Business Unit 15 Sleeping Business（計3週） Unit 14 Stepped-up Robots Unit 14 Stepped-up Robots Unit 14 Stepped-up Robots（計3週） Unit 13 Music for a Silent World 前期中間試験（1週） Unit 13 Music for a Silent World Unit 13 Music for a Silent World（計3週） Unit 12 Clean-up Relay Unit 12 Clean-up Relay Unit 12 Clean-up Relay（計3週） Unit 11 Building a Better Ball Unit 11 Building a Better Ball 前期定期試験</p> <p>試験返却・解説+Unit 11 Building a Better Ball（計3週） Unit 10 Saving the Rain Dance Unit 10 Saving the Rain Dance Unit 10 Saving the Rain Dance（計3週） Unit 9 Reality Check Unit 9 Reality Check Unit 9 Reality Check（計3週） 後期中間試験（1週） Unit 8 Top Skills on Display Unit 8 Top Skills on Display Unit 8 Top Skills on Display（計3週） Unit 7 Frozen Frontier Unit 7 Frozen Frontier Unit 7 Frozen Frontier（計3週） Unit 6 Smart Phones, Smart Kids（1週） 後期定期試験 試験返却・解説</p>			
キーワード	英語演習 I 外国語 リスニング リーディング ライティング		
教科書	What's on Japan 8・NHK BS English News Stories（金星堂）		
参考書	英和・和英・英英辞典 NHK 英語テレビ・ラジオ講座等、各種参考書（特に定めない）		
カリキュラム中の位置づけ			

前年度までの関連科目	英語 I A 英語 I B 英語 II 英語 III 英会話 ライティング A, B, 英会話
現学年の関連科目	英語表現 I 英語表現 II
次年度以降の関連科目	英語演習 II
連絡事項	
<p>授業方法：</p> <p>授業は、実際に放映されたニュースを素材としている教科書を使用し、1 unitにつき3週のパースで実施。本授業では、予め各unitのscriptに出てくる、重要な文法事項・表現が使用されている英文や単語を抜き出したプリントを配布した後、予断なく英語の聞き取りを行い、自分の英語力を（再）認識してもらうため、1週目はLL教室にて授業を行う。そして2週目以降は教室で配布してあるプリントの内容確認を行い、定着を図る。間の時間で、日常生活で使うレベルの表現の英作文を、予め配布したプリントを用いて行う。</p> <p>学習方法：</p> <p>予習－予め配布する上記2種類のプリントの問題を、辞書を使って解いておく。 授業－授業中の活動に積極的に取り組み、授業内容を理解する。 復習－授業中の板書や日本語訳などをノートにまとめ、再確認する。</p> <p>定期試験実施方法：</p> <p>試験時間は50分。持ち込みは一切不可。不正行為などには本校の規定にしたがって対処。</p> <p>学生へのメッセージ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業には「必ず」英和辞典を（できれば和英辞典も）携行すること。 2. 随時、補助的教材（プリント等）を使用する予定。 3. この教材は身近な話題を扱っており、更にはDVDも付いていますので、気楽に取り組めると思います。積極的な学習を期待します。進度の変更の指示や補助教材の配布は、予め行います。 4. 上記の「各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法」からも分かるとおり、課題提出が単位取得の重要な鍵となる場合がありますので、課題を提出する際は必ず <u>完全な形で提出</u>して下さい。 <p>※この授業計画はあくまで予定であって、進度が変わる場合は予め授業中に指示します。</p>	
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 26 日